

ID No.	241
研究課題名	多光子励起および超解像顕微鏡を用いた細胞運動のマルチモーダル蛍光イメージング
研究代表者	飯村 忠浩 (愛媛大学・教授)
研究組織	
受入教員	村上 善則 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	今村 健志 (愛媛大学・教授) 大嶋 佑介 (愛媛大学・助教)
研究報告書	
<p>超解像顕微鏡(SIM, STROM法)を用いた、葉状仮足、脂質ラフトの蛍光可視化法の検討を行った。細胞骨格や細胞膜の蛍光染色、蛍光免疫染色などにより、葉状仮足や脂質ラフトの可視化を目指すとともに、画像解析による定量化(大きさ、形態、シグナル量)方法についても検討を行った。</p> <p>また、SIM法による、ライブイメージングをトライし、葉状仮足や脂質ラフトの動的変遷の可視化、定量化についても検討も検討した。</p> <p>さらに、これらの解析系を、骨代謝研究へも応用し、解析技術の相互展開を行う。骨では、骨芽細胞や破骨細胞の in vivo での細胞運動の解析、超解像での微細構造および細胞運動の解析へと現在応用展開中であり、興味深い知見を得ている。</p>	